

図:EEC域内の重要インフラ投資計画

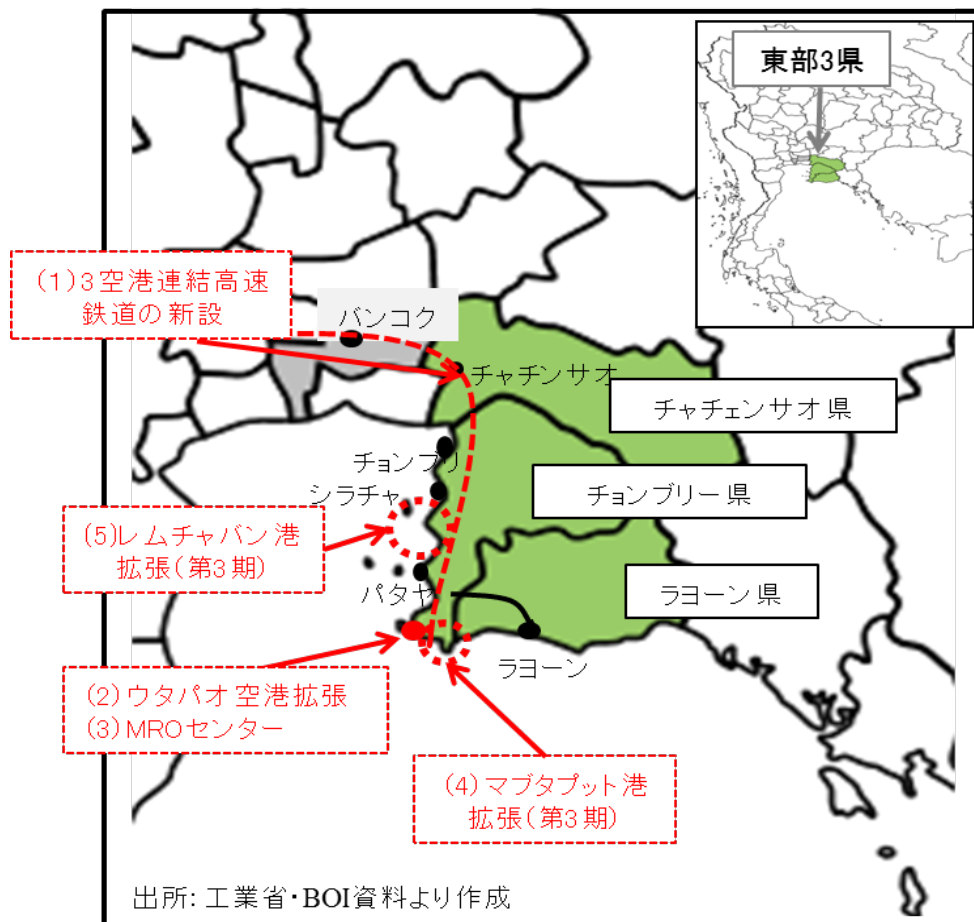


表 主なインフラプロジェクトの今後の開発スケジュール

案件	入札開始	業者決定	契約署名	着工	稼働開始
(1) 3空港連結高速鉄道	18年3~4月	18年9~10月	18年12月中	2019年	2023年
(2) ウタパオ空港拡張	2018年8月	2018年11月	18年12月中	2019年	2023年
(3) レムチャバン港・第3期開発	2018年6月	18年7~8月	2018年9月	2019年	2021年(注)
(4) 航空機整備（MR0）センター設立	2018年6月	2018年9月	18年12月中	2019年	2024年
(5) マプタプット港・第3期開発	2018年8月	2018年11月	18年12月中	2019年	2025年

(注) ウタパオ空港については、タイ航空は2022年6月より本格稼働と説明
(出所) 3月19日、シンポジウムにおけるEEC事務局カニット事務局長発表資料 “EEC in ACTION”より抜粋

東部経済回廊（EEC）内のインフラ計画（概要）

1. 3 国際空港を連結する高速鉄道の建設：
 - ・ EEC 域内のウタパオ空港と、バンコク近郊のスワンナプーム国際空港、ドンムアン国際空港を連結する高速鉄道（最大時速 250 km）を建設
 - ・ 対象区間は延長 220 km、区間内に 15 の駅を立地、既存の空港連絡鉄道（エアポートリンク）を活用・延長
 - ・ ドンムアン空港～スワンナプーム空港を 41 分、スワンナプーム空港～ウタパオ空港を 60 分で結ぶ（全区間を最短で 101 分で運行）
 - ・ 事業総額は、約 2,500 億バーツ（約 71 億ドル）（見込み）
2. ウタパオ空港の拡張・増設：
 - ・ 新たな第 2 滑走路および新旅客ターミナルを建設
 - ・ 空港内の敷地（10.4 km²）を「東エアポート・シティ」に指定し、貨物用施設、自由貿易区域、航空産業向け研修施設、航空機整備センター、また商業地区を設置
 - ・ 事業総額は、2,000 億バーツ（57 億ドル）の見込み。7 割を PPP 方式で民間事業者より調達し、3 割を政府支出で賄う
3. レムチャバン港 第 3 期開発：
 - ・ 第 1 期～第 2 期で開発された A～D ターミナルに加え、E～F ターミナルを開設
 - ・ PPP 方式にて開発を進め、事業総額は 1,500 億バーツ（約 42 億ドル）の見込み
 - ・ 年間のコンテナ取扱可能量を、現在の 700 万 TEU から 1,800 万 TEU に、自動車輸出能力を 100 万台から 300 万台へ拡大
4. 航空機整備（MRO）センター設立：
 - ・ ウタパオ空港の隣に、タイ航空が運営する、航空機修理の最新 MRO センターを建設
 - ・ タイ航空とエアバス社は、共同で MRO を設立するための協定を締結済
 - ・ 同 MRO センターは 2022 年までに稼働開催（予定）
5. マプタプット港 第 3 期開発：
 - ・ EEC 域内のマプタプット港における、液体燃料や天然ガスの取り扱い能力を強化
 - ・ 事業総額は、約 111 億バーツ（約 3 億ドル）（見込み）

以上